

2024年度 外国人留学生のための 東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程) 試験内容および課題曲等

(本冊子はこのページを含めて全22ページ)

※試験科目の内容について、電話等による問い合わせには応じない。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載する。

【 略 記 - 覧 】

専攻・声種・楽器名		略記	専攻・声種・楽器名		略記	
作	曲	/				
	ソ プ ラ ノ	S	器	バ ロ ッ ク 声 楽	BVo	
	メ ズ ・ ソ プ ラ ノ	Ms		バ ロ ッ ク ヴ ァ イ オ リ ン	BVn	
	ア ル ト	A		バ ロ ッ ク チ ェ ロ	BVc	
	カ ウ ン タ ー テ ノ ー ル	Ct		リ コ ー ダ ー	Rec	
	テ ノ ー ル	T		チ ェ ン バ ロ	Cemb	
	バ リ ト ン	Br		バ ロ ッ ク オ ル ガ ン	BOrg	
	バ ス	B		フ ォ ル テ ピ ア ノ	FP	
ピ ア ノ	Pf	指 揮		/		
器	オ ル ガ ン	Org	邦 楽	/		
	弦 楽	ヴ ァ イ オ リ ン	Vn	音 楽 学	/	
		ヴ ァ イ オ ラ	Va	音 楽 教 育	/	
		チ ェ ロ	Vc	ソ ル フ ェ ー ジ ュ	/	
		コ ン ト ラ バ ス	Cb	音 楽 文 芸	/	
		ハ ー プ	Hp	音 楽 音 響 創 造	/	
	木 管	フ ル ー ト	Fl	<p style="text-align: center;">●略記について●</p> <p>1. 原則として2字以内にまとめた。</p> <p>2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。</p> <p>3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。</p>		
		オ ー ボ エ	Ob			
		ク ラ リ ネ ッ ト	Cl			
		フ ァ ゴ ッ ト	Fg			
		サ ク ソ フ ォ ーン	Sx			
	金 管	ホ ル ン	Hr			
ト ラ ン ペ ッ ト		Tp				
ト ロ ン ボ ーン		Tb				
ユ ー フ ォ ニ ア ム		Euph				
チ ュ ー バ	Tu					
打 楽 器	Pc					
室 内 楽	/					

2024年度「学生募集要項」の公表について

1. 公表時期 7月上旬
2. 公表方法

本学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 上で公表する。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
作曲	作曲	<p>(イ) 作品審査 以下に定める作品等を 2023 年 8 月 25 日 (金) 正午までに直接又は郵送により音楽学部学生募集係に提出すること。 [提出を要する作曲作品について] 二管編成以上の管弦楽作品, およびアンサンブル作品 (演奏者 2 名以上 8 名以内で声楽を含むも可) の, 各 1 曲の楽譜を提出する。</p> <p>(ロ) 筆記試験 日本語による, 作曲の基礎的な知識に関する筆記試験。(試験時間 90 分) (注) 筆記試験の受験においては辞書の使用を認める。ただし, 使用できる辞書は, 言語系の紙媒体の辞書 1 冊のみとする。 音楽事典など言語系ではない辞書の使用は認めない。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で, 提出した上記作品や作曲に関する口述試問を行う。</p>

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
オペラ	ソプラノ (S)	<p>提出曲</p> <p>志願者は、以下の A, B, C の各分野より 2 曲ずつ、計 6 曲を選び、受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入し、提出すること。</p> <p>A 分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。</p> <p>B 分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。</p> <p>C 分野：歌曲。</p> <p>※オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが，移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。</p> <p>※演奏曲の指定は，受験曲目提出用紙の「イロハニホヘ」の記号で行うので，そのコピーを当日持参すること。</p>
	メゾソプラノ (Ms)	<p>試験内容</p> <p>①歌唱実技試験</p> <p>提出された曲目の A, B, C の各分野より 1 曲ずつ，本学が試験当日に記号で指定するので，指定された 3 曲を 9 分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲，適宜カットして良い）。演奏曲順は自由。</p>
	アルト (A)	
	カウンターテノール (Ct)	<p>②オペラ適性検査</p> <p>任意のオペラからレチタティーヴォ付きアリアを 1 曲選び（曲目提出の必要はない），原語・原調で，また暗譜のうえ演技付きで演奏する。演奏時間は制限しないが，当日試験官が演奏箇所を指定する場合がある。助演は認めない。なお，テーブル・椅子の用意はあるが，小道具については各自用意のうえ使用を可とする。</p>
	テノール (T)	
ラ	バリトン (Br)	<p>※以上の①，②の演奏はピアノ伴奏とし，志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。</p>
ラ	バス (B)	<p>③初見視唱</p>
		<p>④ピアノ演奏</p> <p>自由曲 1 曲：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から，任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが，評価上不利になるものではない。</p>
		<p>⑤小論文</p> <p>当日出題するテーマについて，日本語で記述する。</p>
		<p>⑥面接</p>

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	ピ ア ノ (P f)	<p>◎注意事項 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。</p>
		<p>(イ) 実技試験 以下 (A) (B) (C) の曲目で合計 25 分以上のプログラムを提出し演奏する。</p> <p>(A) J. S. Bach, Haydn, Mozart, Beethoven の作品より 1 曲 (B) (イ) Chopin の練習曲より 1 曲 (ロ) Chopin 以外の作曲家の練習曲より 1 曲 (C) 自由曲 I) 演奏はすべて暗譜とすること。 II) 当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> <p>(ロ) 面接 日本語でピアノを専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等	
器 管 打 楽	管 木 管	<p>◎管打楽研究分野共通注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、受験者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。（ただしテナートロンボーンは提出不要） 	
		フルート (F1)	<p>(イ) 実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題曲 下記の a) または b) より任意の1曲を選択し演奏すること。 (カデンツァを含む) <ul style="list-style-type: none"> a) W. A. Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W. A. Mozart : Konzert D-Dur K.314 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。 <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
		オーボエ (Ob)	<p>(イ) 実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert C-dur K.314 (Bärenreiter) (カデンツァを含む) 2. 自由選択曲 a) ~ e) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 <ul style="list-style-type: none"> a) E. Carter : Inner Song (Boosey&Hawkes) b) A. Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第1曲と第5曲 (Boosey&Hawkes) c) H. Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott) d) G. Silvestrini : Six études pour le hautbois より 第1曲と第6曲 (Edition du Hautbois) e) I. Yun : Piri oboe solo (Bote&Bock) <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
		クラリネット (Cl)	<p>(イ) 実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題曲 以下の両方を演奏すること。ただし Mozart は暗譜とする。 W. A. Mozart : Konzert A-Dur K. 622 H. Hepp, A. Rohde (編) : Orchesterprobenspiel : Klarinette / Hohe Klarinette / Bassklarinete (Peters) より L. v. Beethoven : Sinfonie Nr. 6 第1, 2楽章 2. 自由曲 (任意による1曲) <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
		ファゴット (Fg)	<p>(イ) 実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による1曲) <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
		<p>(イ) 実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題曲 J. Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による1曲) <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>	

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等		
器 管 打 楽	金 管 打 楽	ホルン (H r)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より 第1楽章 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲 1曲 (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。	
		トランペット (T p)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 H. Tomasi : Concerto 全楽章 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J. W. Hertel : Concerto No.3 in D 第1, 2楽章 b) G. Ph. Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) c) L. Mozart : Concerto in D 全楽章 (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。	
		トロンボーン (T b)	テナートロンボーン (T T b)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 F. Martin : Ballade (Universal Edition) G. Ch. Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) * アルトトロンボーンで演奏すること。 2. 自由曲は課さない。 (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。
			バストロンボーン (B T b)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 T. Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。
		ユーフォニアム (E u p h)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 J. Horovitz : Euphonium Concerto (Novello) 2. 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。	
		チューバ (T u)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 R. Vaughn Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) 2. 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。	
		打楽器 (P c)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 F. Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。	

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
器	古	バロックヴァイオリン (BVn)	<p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の3つのグループからそれぞれ作品を選んで25分程度のプログラムを構成し演奏する。繰り返しは自由。</p> <p>①J. S. Bach：無伴奏ソナタ&パルティータ BWV1001～1006の中から2つの楽章</p> <p>②次のイ) またはロ) またはハ) から1曲</p> <p>イ) D. Castello, G. B. Fontana, B. Marini または同時代のイタリアの作曲家の作品</p> <p>ロ) A. Corelli：『ヴァイオリン・ソナタ集』作品5 (1700) のソナタ第1番～第6番のうち1曲 (緩徐楽章には自作の装飾をつけること。)</p> <p>ハ) H. I. F. Biber：『ヴァイオリン・ソナタ集』(1681)の中から1曲</p> <p>③次のニ) またはホ) の曲集から1曲選び、2つ以上の楽章を演奏する。</p> <p>ニ) J. M. Leclair：“Quatrième livre de sonates” Oeuvre 9 (1743)</p> <p>ホ) F. Couperin：“Concerts Royaux” (1722)</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問</p>
楽	楽	バロックチェロ (BVc)	<p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～③を演奏する。</p> <p>①当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。テンポは自由、1弓6音または8音、最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。</p> <p>②F. Geminiani：Sonata in a, op.5-6</p> <p>③J. S. Bach：Suite a violoncello solo senza basso No.2-4から選択した1つの組曲のPrélude, Allemande, Courante (AllemandeとCouranteの繰り返しは省く。)</p> <p>2. アンサンブル課題：</p> <p>④ A. Corelli：op.5-4 F dur の第1, 2楽章を、本学の用意したソロ奏者と、志願者の同伴したチェンバロ奏者ととともに演奏する。 当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p> <p>[楽器と弓のスタイル (モダン仕様かバロック仕様かなど) は問わないが、ガット弦を使用すること。基準ピッチはa'=415とする。②に関してはチェンバロの通奏低音奏者を同伴すること。版はPeters版またはS.P.E.S (1746年デン・ハーグの版), ③はベーレンライター (2000年出版), ブライトコップフ (2000年), 東京書籍 (2009年) のいずれかを使用すること。]</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問</p>

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	リコーダー (R e c)	<p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の各作品を演奏する。</p> <p>①A. Virgiliano : “IL DOLCIMELO”より任意のリチェルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ, 移調は自由。]</p> <p>②J. -M. Hotteterre : 作品2 又は作品5 (1715) より任意の組曲1曲 全楽章 [F管アルト・リコーダーに適した調性に移調すること。ピッチはa'=415]</p> <p>③J. S. Bach : Partita イ短調 BWV1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない。]</p> <p>④ A. Vivaldi : 協奏曲 RV441, 443, 444, 445 から1曲全楽章 [RV441 はF管アルト, RV443, 444, 445 はF管ソプラニーノを使用。ピッチはa'=415]</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。 (予見時間5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問</p>
	チェンバロ (C e m b)	<p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～⑤を演奏する(繰り返しは当日指示する)。</p> <p>①G. Frescobaldi の《トッカータ集》(第1巻, 第2巻) から任意のトッカータ1曲</p> <p>②J. P. Sweelinck または W. Byrd または J. Bull の作品(5～8分にまとめる。)</p> <p>③J. -H. d'Anglebert の組曲第1番(ト長調)または第2番(ト短調)を選び, その中から Prélude, Courante, Sarabande, Gigue を1曲ずつ演奏する。</p> <p>④A. Forqueray の“Pièce de viole mises en pièces de clavecin” (J. B. Forqueray 編) から1曲(4分以内)</p> <p>⑤J. S. Bach : パルティータ第5番ト長調 (BWV 829)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間10分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問</p>
	バロックオルガン (B O r g)	<p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～⑤を演奏する。</p> <p>①G. Frescobaldi : Aria detto Balletto (※Mitteltönigwerk を使用すること)</p> <p>②次のイ)～ハ) から任意の1曲 イ) J. P. Sweelinck : Hexachord Fantasia (F1, SwWV 263) ロ) J. P. Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ハ) J. P. Sweelinck : Echo Fantasia in d (d3, SwWV 260)</p> <p>③北ドイツ楽派の大規模な Toccata, Praeludium, Praeambulum の中から任意の1曲</p> <p>④J. S. Bach : 6つの Triosonate BWV525～530 の中から任意の1曲 (全楽章)</p> <p>⑤N. de Grigny : Ave maris stella (全4節)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間10分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
邦	能 楽	<p>(イ) 実技試験 観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「山姥クセ」及び仕舞「松風」 ワキ方 下掛宝生流による志願者 …謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	能 楽 囃 子	<p>(イ) 実技試験 1. 笛……………「楽」 2. 小鼓……………「楽」 3. 大鼓……………「楽」 4. 太鼓……………「楽」</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> <p>※出願の際は所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要な事項を記入の上提出のこと。</p>
楽	邦 楽 囃 子	<p>(イ) 実技試験 1. 「賤機帯」（四世杵屋三郎助作曲）（太鼓・大鼓・小鼓・笛）より任意の楽器を選択。 2. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1）2以外は暗譜で演奏すること。 2）1の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 3）楽器は各自持参すること。</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	日 本 舞 踊	<p>(イ) 実技試験 1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。</p> <p>注1）録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 2）両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	<p>研究計画書</p> <p>大学院修士課程における各自の研究について、①修士課程での研究テーマと、そのテーマを選んだ理由、②そのテーマに関連してこれまでに自分が参照した研究等（それに対する自分の評価も含めて書くこと）、および③修士課程における具体的な研究計画（横書き、計1600字程度、手書き不可）を日本語で作成し、PDFファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。なお、研究計画書には氏名を明記しないこと。</p>
		<p>(イ) 音楽学</p> <p>音楽学の基礎的な知識に関する筆記試験。</p> <p>(注) 試験内容「音楽学」の受験においては辞書の使用を認める。ただし、使用できる辞書は、言語系の紙媒体の辞書1冊のみとする。音楽事典など言語系ではない辞書の使用は認めない。</p> <p>(ロ) 口述試問</p> <p>日本語で音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽教育	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽教育研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 【①～⑤のうち1つを選択し受験すること。】</p> <p>①「作曲」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『作曲専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。</p> <p>②「声楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『声楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「①歌唱実技試験」のみ』とする。「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。</p> <p>③「器楽(室内楽を除く)」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『器楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ)実技試験」のみ』とする。ただし、ピアノで受験する者の試験課題は、次の通りとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>以下(A)及び(B)を演奏すること。 (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章) (B) ショパン：練習曲(Op.10またはOp.25)より任意の1曲 (注) 1. 演奏はすべて暗譜とする。 2. 当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> </div> <p>「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。</p> <p>④「邦楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『邦楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ)実技試験」のみ』とする。「尺八」および「能楽囃子」を選択した者は「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。</p> <p>⑤「音楽学」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『音楽学研究分野における「試験内容および試験曲等」のうち、「(イ)音楽学」のみ』とする。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で音楽教育を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	音楽文芸	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽文芸研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で音楽文芸を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽音響創造	<p>(イ) 筆記試験 修士課程における研究を行う上での準備状況、研究計画を日本語で書く。(試験時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 音楽音響創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。</p> <p>※ 出願時に (A) 「研究計画書」及び (B) 「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、他必要書類と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、他必要書類とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「東京藝術大学音楽学部学生募集係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品(または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を2000～3000字で具体的に記述すること。Word等で作成した文書を所定様式の点線枠内に貼付すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について 下記(1)、(2)、(3)のいずれかを提出すること。(返却しない。)</p> <p>(1) 音楽作品の制作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての日本語による解説。(1作品につきA4用紙4枚以内。録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること。)</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R、DVD-Rで、映像をともなう場合はDVD-R、Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>